

協議会等	姫路市地域公共交通会議離島航路分科会
評価対象航路	坊勢航路

二次評価結果

○事業実施の適切性について、評価できる。

安全確保のための悪天候等を要因とした欠航を除き、定期運航が確保された。

○目標と効果の達成状況について、評価できる。

旅客輸送量について、計画はコロナ禍前の令和元年度の利用者数に島民人口の減少率を加味した設定であった。この計画に対して、積極的に関係者と連携し、企画切符の販売、島の魅力の積極的な発信及び観光パンフレットの作成などに取り組み、交流人口の拡大に努め、目標と前年度実績を上回った。また、SNSによる運航情報発信やコミュニティバスとの交通接続機能強化を図るなど利用者利便の向上にも取り組んだ。

収支について、経営の安定化のため島民理解を得て、令和4年10月から運賃を値上げしたが、収益は減少した。これは、運賃値上げ前の回数券のまとめ買いの反動が一時的に現れているものと思われる。費用面では、燃料価格高騰が続く中、引き続き中型船の運航を荒天時等に限り、経費削減努力を行った。また、船員不足を解消し、安全運航に取り組み、離島航路を維持・確保した。

○まとめ

全体を通して、評価できる。

分科会においては、引き続き適切な船舶の運航に努めることで経費を削減しつつ、島の魅力の磨き上げや姫路市中心部との連携を図り、誘客による運航収益の増加を図られたい。

また、感染症拡大防止対策を徹底しつつ、利用者が安心して利用できる公共交通機関として、引き続き安定的な航路の確保維持に努められたい。